

科学技術・学術審議会資源調査分科会について

1 資源調査分科会は、エネルギー資源、食料資源をはじめとするハード資源のみならず、広くソフト資源も含めて、長期的・横断的な視点から、「資源の総合的利用に関する調査審議」を行っており、これまでに次の報告を取りまとめている。

- ① 地球上の生命を育む水のすばらしさの更なる認識と新たな発見を目指して
(平成 14 年 12 月)
- ② 文化資源の保存、活用及び創造を支える科学技術の振興 (平成 16 年 2 月)
- ③ 五訂増補日本食品標準成分表 (本編・脂肪酸成分表編) (平成 17 年 1 月)
- ④ 光資源を活用し、創造する科学技術の振興 (平成 19 年 9 月)

平成 21 年 1 月現在、資源調査分科会は、食品成分委員会を設置し、アミノ酸組成表の改訂、ビオチン等未収載の微量栄養素の成分表策定等に関する調査審議を行っている。

2 資源調査分科会は、(旧) 科学技術庁資源調査会を前身とし、昭和 22 年に資源委員会として発足以来 (昭和 24 年に「資源調査会」と改称)、時代に即応した資源の総合的利用に関する重要事項について調査審議を行ってきたところであり、平成 13 年の省庁再編に際して、科学技術・学術審議会 資源調査分科会に改組され、現在に至っている。

(参考 1) 資源調査会の変遷

年月日	名称	会長	所属機関	所属機関の長
昭 22.12.13	資源委員会	総務長官	経済安定本部	内閣総理大臣
24. 6. 1	資源調査会	〃	〃	〃
27. 8. 1	〃	経済審議庁長官	総理府	〃
31. 5.19	〃	互選された委員	科学技術庁	科学技術庁長官

(参考 2) 科学技術・学術審議会の構成

文部科学省

